

辻井 いつ子氏 講演会開催

—世界的ピアニスト辻井伸行さんを育てた母—
子どもの才能の見つけ方、伸ばし方



講師 辻井 いつ子氏



約450名の方が
来場されました!



越王太鼓の
アトラクションもありました!

西蒲区自治協議会総務部会では、子どもたちの「豊かな心」を育てていきたいという想いから、世界的ピアニスト辻井伸行さんを育てたお母様、辻井いつ子さんをお招きし、8月31日、西川多目的ホールにおいて「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」をテーマに講演していただきました。

辻井さんから「子どもは、どんな才能があるかわからないので、親の考えを押し付けるのではなく、見守っていくことが大切。できないことを嘆くのではなく、できたことを褒めて伸ばしてあげましょう。」など、ご自身の経験をお話していただきました。子育て中の皆さまに活かしていただけることを期待しています。



西蒲区自治協議会通信

題字 小林 眞由美

[第11号]

令和元年10月15日発行

発行 西蒲区自治協議会

編集 西蒲区自治協議会広報部会

事務局 西蒲区役所地域総務課

〒953-8666 西蒲区巻甲2690番地1

TEL 0256-72-8161

FAX 0256-72-6022

E-mail chikisomunsk@city.niigata.lg.jp



和納十五夜祭りの棒遣い ～新潟市無形文化財～

和納の棒遣いは、天保年間(1830～1843)に和納の福成寺の住職が、三根山藩に子どもたちを連れて習ってきたもので、10万石の大名行列の先導と警護の役を務めるものであったが、近年では、大名行列はなく、和納十五夜祭りの神輿渡御の先導と警護を行っているものです。

参加できる子どもは、以前は和納5区、6区の農家の子どもたちでしたが、年々少子化が進み、伝統を守るため、現在では和納小学校区の子どもたちで構成され、小学3年生から中学3年生までの10人で行っています。

最年長は、中通りという役で、「ザイ」の合図で、最年少の拍子木が打たれ、棒方4名太刀方4名で1番から9番までの型で技を披露しながら、三社神社から住吉社までの800mを往復し、神社に奉納します。

～はじめての一步 つづける一步～

保健福祉部会では、～はじめての一步 つづける一步～「ウォーキングチャレンジ」を今年の区自治協議会提案事業として、多くの方の参加により9月から11月の3か月間実施しています。区役所等に設置してある手帳に歩数等を記入して、区役所に提出するだけです。少子高齢化が進む中、運動と栄養は健康の両輪です。自分自身の生活習慣を見直すことによって、認知症の予防と健康寿命延伸に繋がれると思います。ウォーキング等を継続し、自分自身の健康に投資してみませんか。期間終了後、手帳を区役所に提出し、成果を楽しみにお待ちください。



編集後記

西蒲区自治協議会通信「いちはよ」は、第11号より広報部会新メンバーで企画・編集しました。西蒲区内の催しやトピックス等、限られた紙面の中で、できるだけわかりやすく、動きのある、読んで楽しい広報紙にするため、メンバー一同頑張ってお送りいたします。

募集します

◆「ホットとコーナー」の皆さまの声」
◆詩、川柳、お子さまやペットの写真など、自分が「ホット」するものを、タイトルや言コメントを添えて投稿してください。◆また、地域に関する課題などで、区自治協議会で協議してもらいたいことがあります。◆いずれも事務局(広報紙第一面に掲載)まで、住所・氏名(ペンネーム)があればペンネーム掲載・連絡先をお書き添えの上、郵送または電子メールにてお送りください。

●ホットとコーナー

私は、趣味と健康のため毎日畑仕事を楽しみで、春の来る日が待ち遠しく、三月下旬になるとまず畑へ出向き、ネギ苗、カブ、ホウレンソウ、ジャガイモと多くの作付けから始まり、暖かくなると朝明るくなるのを待って畑に出向き、枝豆のとれるときは豆もぎから始めそれぞれの野菜の生育状態を見て、日の出から暑くなる前に家に帰り朝食をとり、新聞に目を通しテレビを見て一休み。昼食後は約30分から1時間昼寝して夕方また畑にて一日が終わります。そこで一句作りました。



尾暮 忠夫

6/27 第1回西蒲区教育ミーティングが開催されました

テーマ 保護者・地域・学校の連携

当日は、教育長、教育委員はじめ教育行政担当者、区役所関係者、自治協委員の計39名により、「保護者・地域・学校の連携」をテーマに意見交換を行いました。

未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、この三者の連携が欠かせません。今回は、西蒲区の実情や課題を中心に出席された意見等から、その一部を紹介します。

自治協委員からの主な意見・質問

- 普通教室へのエアコン設置は望ましいことだが、設置が予定より遅れているとの報道もある。今後の見通しはどのような状況なのか。
- 教員の多忙化が問題になっている。心を病んでいる職員もいるようだ。学校現場に温かいケアと手立てが必要。
- コミュニティ・スクール化への動きが始まるとのことだが、西蒲区ではモデル校の指定はあるのか。
- 各学校にいる地域教育コーディネーターは、地域と学校をつなぐ重要な役割を果たしてくれている。より一層の資質向上やネットワーク拡大に期待している。
- 最近、子どもたちにも会っても挨拶が少ないと感じる。挨拶が交わせるよう、地域や学校が連携して取り組んでいきたい。
- 学校では、地域と人とふれあいながら行う活動が多くなっている。大変すばらしいことだ。自分たちの住んでいる郷土に興味を持ってもらえるよう関わっていきたい。
- 学校は、学習の場であると同時に、多くの人との関わりの場でもある。より多くの地域の方たちとふれあうことで豊かな心が育つことを願っている。
- 学校の「働き方改革」について、地域が何をどこまで取り組んでいけるかということが課題になるのではないか。



ぎょうまいも植え



傘ぼりクラブ



絵手紙づくり



見守り活動

教育委員、教育行政担当者からの主な応答

- 普通教室へのエアコン設置については、入札不調や器材不足などの状況から当初予定の半分程度の設置になってしまった。2020年1月末までには設置を終える予定。
- 現在、学校の「働き方改革」を進めている。地域や保護者の皆様からもご理解いただき、学校への支援をお願いしたい。
- コミュニティ・スクールのモデル校については現在調整中。決まり次第、知らせる。
- 地域教育コーディネーターは、様々な場面で学校や地域等を巻き込み、活動してくれている。学校がますます多忙化する中で、地域の方からの理解と協力はとても重要。協力し合って進めていきたい。
- 地域教育コーディネーターへの関心と期待の高さを感じた。コンプライアンス等も含め、資質向上が必要。
- 子どもたちや地域のための活動はボランティア精神あふれる皆様のおかげで成り立っている。健全な環境づくりには、私たち市民一人一人のそうした心がけが大切だと感じた。

*教育ミーティングの概要については、新潟市のホームページにも掲載されています。

第7期 西蒲区自治協議会スタート!



会長
長井 正雄

第6期に続き、このたび第7期の会長に就任しました。

西蒲区は豊かな自然、観光資源に恵まれ、何より区民の皆さまの温かい心が大きな魅力です。平成19年の新潟市の政令市移行に伴い、旧5町村で構成された西蒲区が誕生しましたが、十余年経過した現在、区としての一体感醸成が一つの課題となっています。区自治協議会としましては、委員構成の強みを活かし、区役所と連携しながら、協働により課題の審議・解決、まちづくりに努めて参ります。

これからも、ご理解とご協力をお願いします。



副会長
五十嵐 杉之

少子高齢化、人口減少等に伴い、西蒲区では様々な地域課題が山積する中、地域の皆様が住み慣れた地域で安心して豊かに暮らすことのできる地域を実現するために、委員の皆様と頑張ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。



副会長
竹内 みよ子

今、潟東「鎧湯」の記憶をたどる日々が続いています。地域の隠れた魅力探しが、郷土の歴史や風土の素晴らしさに気付かせてくれる瞬間です。西蒲区自治協議会が進める「ガイド養成講座」の取り組みが、『まちづくり』につながることを目指します。

西蒲区長あいさつ



鈴木 浩行

政令指定都市の第2ステージに入り、第7期西蒲区自治協議会も新しい委員の皆様をお迎えし、新たな体制で船出をいたしました。国内外において変化の激しい時代を乗り切るためにも自治協議会の皆様と一層力を合わせ、現在、社会問題となっている人口減少、少子・超高齢化社会など喫緊の課題と向き合いながら、10年後、20年後を見据えたまちづくりのために新しいことにもチャレンジし、子どもたちに希望あふれる未来を創っていきたく願っています。

目指せ1日8000歩 健康増進担当

保健福祉部会



温か癒しの西蒲区 安心安全幸せ担当

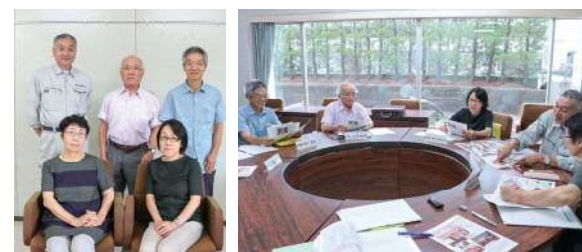
総務部会



部会
紹介

地域の情報 発信担当

広報部会



お宝発見 まちづくり担当

まちづくり・産業部会

